

## 12月定例記者会見質疑応答公表用

▽日時:令和3年12月3日 午前11時00分から

▽会場:稲敷市役所 4階全員協議会室

▽参加新聞社:茨城新聞社、朝日新聞社、時事通信社、読売新聞 4名

▽出席説明者:市長、副市長、教育長、行政経営部長、地域振興部長、市民生活部長、教育部長、保健福祉部長、土木管理部長、行政経営部企画監(秘書政策課長)、市民生活部企画監(環境課長)、保健福祉部企画監(社会福祉課長)、総務課長、企画財政課長、健康増進課長、高齢福祉課長、農政課長、子ども支援課長、まちづくり推進課長、健康増進課ワクチン接種対策室長、地域おこし協力隊丸田隊員

### ■資料

別紙のとおり

### ■市長あいさつ

改めまして、皆さま、こんにちは。本日は、お忙しいところお越し頂き、ありがとうございます。また、記者の皆様には、日頃より、本市の市政情報の発信等にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

初めに、政府の動向についてですが、11月26日の臨時閣議において、新たな経済対策などを盛り込んだ補正予算案が決定されました。岸田総理からは、『コロナ克服・新時代開拓のための経済対策』の各施策を盛り込んだ、令和3年度補正予算の概算が報告され、国民の皆様には、スピード感を持って施策をお届けすべく、年内できるだけ早期の補正予算の成立を目指すことが示され、これによりコロナ禍で傷んだ経済を立て直すとともに、社会経済活動の再開を図り、新しい資本主義を起動させていき、同時に、いわゆる『16か月予算』の考え方の下、この補正予算と一体として、令和4年度予算を編成して参るとの方針が述べられました。

本市としましても、この政府の方針決定に基づき、経済の再生に向けた、新たな対策としまして、新型コロナで影響を受けた方々への支援や、市民に寄り添った特色ある施策を提案していきたいと思っております。さらに、18歳以下の子供への給付金につきましては、所得制限を設けたうえで、中学生以下の子供への5万円の現金給付を、年内に実施したいと考えております。

さて、新型コロナウイルスの状況につきましては、現在、新たな変異株「オミクロン株」の出現により感染拡大が懸念されておりますが、国内の感染者数は、今のところ落ち着きを見せており、本市においても、9月下旬から減少傾向で、10月7日に感染者1名が公表された以降、新規感染者数はゼロが続いております。また、本市のワクチン接種状況につきましては、11月28日現在で、2回目の接種を完了している方が31,835人、率にして86.8%の方が接種を済ませております。これから実施予定の、3回目の接種につきましても、国の方針に基づき、今年3月～4月に2回目の接種を終えた医療従事者、約191名の方に対しまして、11月22日に接種券を発送し、12月1日から

該当された方への、ワクチン接種を開始しております。今後も接種の実施スケジュールに合わせまして、希望する全ての市民の皆様が、スムーズに、そして安心安全に接種が行えるよう、市としても3回目の接種に万全を期して参りたいと考えております。引き続き、記者の皆様方には、本市の様々な情報の発信等に、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

それでは、本日も説明いたしますのは、6日開会予定の令和3年第4回稲敷市議会定例会に上程を予定しております案件、全部で10件でございます。詳細につきましては、このあと、行政経営部長よりご説明させていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## ■質疑応答

### 【稲敷市産米活用支援事業について】

Q:米は世帯に1つ配布か、兄弟がどちらも対象の場合は2つもらえるのか？

A:対象の児童の数分配布する。

Q:予算額は？今回の補正予算で計上しているのか？

A:米代、宅配料、すべて込みで810万円。令和3年度第1回の補正予算で計上している。新米を配布するため予算執行がこの時期になった。

Q:米は、今後毎年配布するのか？米の発送は順次か？一括か？

A:配布は今年度限りの予定。順次発送する。

Q:市内の水稲農家の数は？市産米が買える店舗数は？

A:2020年の農業センサスで農家は1360経営体。買えるのは、14店舗、直売所が3か所。

Q:米の配布は農業支援策なのか？子育て世代支援という観点もあるのか？

A:メインの目的は地産地消の拡大だが、子育て世代支援の意図もある。

### 【オオヒシクイの越冬飛来について】

Q:越冬数の記録を開始したのは1985年からか？

A:保護団体がオオヒシクイのグループの飛来を確認したのが、1985年。

Q:シベリアから飛んでくるのか？

A:シベリアのカムチャッカ半島から飛んでくる。

Q:飛来数が過去最大になったら記者クラブに連絡をしてほしい

A:記録を更新したらプレスリリースを行う。

Q: 成田空港の機能強化は、オオヒシクイの飛来に影響がないのか？評価は出ているのか？

A: 成田空港の環境調査によると、航空機の高度とオオヒシクイの飛行高度が異なるため、影響はないと評価された。オオヒシクイはプロペラ機の音を警戒するため、セスナ機やウルトラライトプレーンが越冬地に侵入しないよう、保護団体からお願いをしている。

#### 【中学校卒業応援商品券交付事業、商品券事業の一本化について】

Q: 対象の中学生は何人か？市内の利用可能店舗数は？

A: 令和3年10月1日時点で294名。その他転入者を含め320名を想定。322店舗で利用可。

Q: ピカピカ1年生応援商品券、新中学1年生応援商品券の金額はいくらか？

A: 中学校卒業応援商品券と同じく2万円。商品券1枚は1000円。20枚で1セット。

Q: 来年度予定している事業の一本化というのは、ピカピカ1年生応援商品券、新中学1年生応援商品券を廃止、中学3年生への商品券配布のみになるという事か？

A: 廃止せず、全ての対象学年を一つの事業で行う。学年ごとに異なっていた商品券を共通にする。

Q: 商品券事業一本化のメリットについて詳しく教えてほしい。

A: 学年ごとに担当課、商品券が異なっていたため、対象店舗の事務作業が2倍発生していた。代金の振り込みも2つの事業で分かれていたため、振り込み手数料も2倍かかっていた。一本化することで、これらの事務作業、手数料を半減でき、対象店舗の混乱も解消できる。また、兄弟がいる家庭では、同じ商品券が生徒それぞれに配布されるので、合算して利用することが可能になる。

#### 【3回目のワクチン接種について】

Q: 市内でモデルナ社製ワクチンの接種が始まるのはいつからか？保健センターでの集団接種は週に何回行うのか？

A: 2月からの接種を予定。集団接種は水、木、日曜を予定しており、一日最大300人接種を予定。

Q: 県内で3回目のワクチン接種を2回目接種から6カ月で行うとした自治体はあるか？

A: 現時点ではそういった情報はない。

Q: 市長として、3回目のワクチン接種を6カ月でやりたいという希望はあるか？

A: 変異株の流行など、動向は注視するべきと考えている。現状で国の方針が2回目の接種から8カ月で接種なのでそれに向けて準備を進めている。